

『痴漢・盗撮を目撃した時、私達にできること』

《伝えたいこと》

痴漢等の被害に遭った時、被害者自身がある場で通報することや、加害行為を止めさせることは、非常に難しいことです。ですが、そんな時、第三者が介入することで、被害に遭った人に寄り添うこと、加害行為を止めることができます。私達は無力ではなく、性犯罪を止めるために一人一人にできることがあります。

しかし、痴漢・盗撮等の現場を目撃した時に、第三者がすぐに行動や対処をすることが難しい場合も考えられます。被害に遭っていると思われる人に協力したい、加害行為を止めたいと思っても、しかるべき対処の方法が分からず、葛藤し、悩んでしまうことがあるためです。1枚目のポスターでは、その葛藤や悩みを表現しました。

そのように葛藤し、悩んでしまうこと自体は、否定されるべきものではないと思います。しかし、葛藤し、悩んでしまうことだけで終わらせてほしくないのです。痴漢・盗撮の犯罪防止のために介入できない社会だと、暗黙のうちに性犯罪を容認し、加害者を許すことになってしまいます。そして、最も救済の必要な被害者を助けることができません。だからこそ、社会全体がこのような問題について知り、考えていけるようになってほしいです。

私達は被害に遭った人に寄り添い、性暴力のない社会を目指します。

《痴漢・盗撮に第三者が介入する方法》

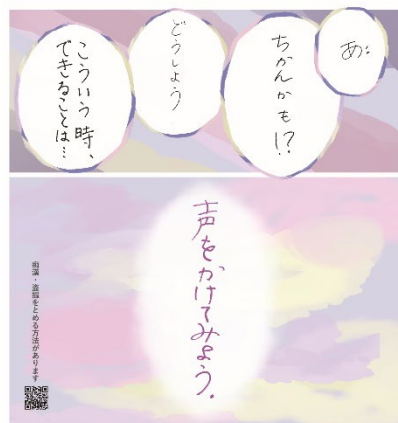
痴漢や盗撮かもしれないと思った時、私達にもできることがあります。

私達は、スマートフォンの画面を使って、被害に遭った人に寄り添う方法を考えました。それを提示しているのが、2枚目のポスターです。2枚目のポスターでは、「かいにゆうさん」と名付けた画面を使って、被害に遭っていると思われる人に声をかけ、介入する様子を描いています。

「かいにゆうさん」とは、第三者が痴漢・盗撮に介入し、被害に遭った人に「あなたは孤立していない」と伝え、寄り添うためのものです。痴漢・盗撮かもしれないと思った時に、被害に遭っていると思われる人への声掛けに使用して頂きたいという思いで、新たに作成しました。

1枚目のポスター↓

痴漢・盗撮を目撃した時、私達にできること



痴漢・盗撮は深刻な暴力です

京都女子大学 協力 京阪電鉄

2枚目のポスター↓

痴漢・盗撮を目撃した時、私達にできること



一緒につくろう、安心できる京阪電車

京都女子大学 協力 京阪電鉄

画面に記載している「大丈夫ですか。声をかけましょうか。」という言葉は、被害に遭っていると思われる人に、その被害に対してどのように対処してほしいかという意味を確認した上で、第三者に行動してほしいとの思いで考えました。

そのため、このカードを活用する際には、被害に遭っていると思われる人に画面を見せ、その反応を確認した上で、被害に遭った人に寄り添った対応をして頂きたいと思っています。

この画面のデータは、2枚のポスターに記載している QR コードから jpg ファイルにてダウンロードできます。是非ご活用ください！

また、「かいにゆうさん」を提示して介入するだけでなく、被害に遭っていると思われる人に知人のふりをして声をかけるという方法や、わざと携帯電話の音を鳴らし、周りの人に痴漢・盗撮が起きていることを知らせるなどの方法もあります。

その他にも、NHK さんの「本気で痴漢なくすプロジェクト」という記事に、第三者介入の方法が詳しく載っています。是非ご覧ください！

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20220323a.html>

●以下の項目では、被害に遭った方、加害をしてしまった方への相談窓口を紹介します。

《被害にあった方へ》

○内閣府 男女共同参画局 性犯罪・性暴力相談窓口

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/avjk/consultation.html

全国ワンストップ支援センターや、SNS で相談ができる Cure time、警察の性犯罪被害相談窓口につながる全国共通番号である「ハートさん#8103」などが掲載されています。公的機関に電話で相談しませんか。

○NPO 法人「At Link Nara」

<https://www.atlinknara.org/>

カウンセリングや電話相談はもちろん、交流会の開催などで当事者同士がつながり支え合う環境が整っています。

○男の生きづらさに応える男性相談窓口一覧(ホワイトトリボンキャンペーン・ジャパン)

<https://wrcj.jp/counterformen/>

男性が、仕事や夫婦、家族関係、健康、性、自身の生き方などでの悩みを相談できる窓口となっています。一人で悩みを抱え込まず、「しんどい」「つらい」と感じたら、窓口相談してみてもいいかもしれません。

《加害をしてしまった方へ》

○NPO 法人 性犯罪被害者の処遇制度を考える会 性障害専門医療センター

<https://somec.org/somec.html>

新たな被害者を生まないために、活動し続ける場所があります。加害行為を止めたい方、その手助けをしたい方、必見です。オンライン治療も対応しています。

○医療法人社団 明善会 大船榎本クリニック

<https://www.enomoto-clinic.jp/hp-list/ohfuna/>

認知行動療法やカウンセリング等の治療プログラムがあり、性依存症の治療、性犯罪の再犯防止に尽力されています。

《第三者の方へ》

○NHK 「本気で痴漢なくすプロジェクト」

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20220323a.html>

被害に遭っていると思われる方に知人のふりをして声をかける、意図的に音を出して事件が起きていることを知らせるといった、第三者介入の方法が掲載されています。

○斉藤章佳(2017年)『男が痴漢になる理由』イースト・プレス

<https://www.eastpress.co.jp/goods/detail/9784781615714>

痴漢が依存症であるということや、加害行為をしてしまった方が抱える問題、認知のゆがみ、生きづらさについて書かれています。